



ブライアン・ウェスブリー

チーフ・エコノミスト

ブライアン・ウェスブリーはファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.のチーフ・エコノミストです。

ブライアンはシカゴ連邦準備銀行の学術諮問委員会のメンバーです。2012年にはテキサス州ダラスのジョージ W. ブッシュ大統領センターのフェローに任命され、4%成長プロジェクトのメンバーとして緊密に取り組みました。ブライアンの執筆は多くの雑誌、新聞やブログに掲載されており、ビジネスTV、ラジオ番組、ポッドキャストに定期的に出演し、経済や金融市場について語っています。

1995年から1996年まで、ブライアンは米国下院合同経済委員会のチーフ・エコノミストを務めました。ウォール・ストリート・ジャーナル誌は2001年、景気後退を予測した彼を全米ナンバー・ワンの経済予測者に、USAトゥデイ誌は2004年に、彼を全米トップ10の予測者の1人に、コンセンサス・エコノミクスは2022年、ファーストトラストのエコノミクス・チームを全米で最も精度の高い経済予測者第1位に選出しました。ブライアンは1982年、シカゴのハリス銀行でキャリアをスタートさせ、その後、シカゴ・コーポレーションでバイス・プレジデント兼エコノミスト、そしてグリフィン、キュービック、スティーブンス&トンプソンでシニア・バイス・プレジデント兼主任エコノミストを歴任しました。

ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院にてMBAを取得。モンタナ大学経済学部卒業。1999年10月にマグロー・ヒル社より初めての著書、「The New Era of Wealth(富の新時代)」を出版。そして2009年11月には、ジョン・ワイルー・アンド・サンズより第二書、「It's Not As Bad As You Think(思っているほど悪くない)」を出版。

2011年にモンタナ大学の優秀学友会賞を受賞。この賞は「大学、州、または国に名誉をもたらした」優秀な卒業生を称えるものです。91,000の卒業生の中から、過去に267名が受賞。